天理市広報　町から町へ　No.1552（平成25年3月1日）　■編集／市長公室自治振興課　〒632-8555 天理市川原城町605　TEL：0743-63-1001 FAX：0743-62-5016　■印刷／冨光株式会社

人の動き

1月末日現在
（　）は前月比

●人口／68,145
（−73）
男／33,443
女／34,702

○世帯数／29,467
（−53）

編集後記

３月は、卒業、退職の時期です。永年歩んできた道に、ひと区切りをし、新たな出発のために準備を進めます。

この「編集後記」も永年にわたり、町から町への編集に携わってきた職員がそれぞれの思いを文字にしてきました。

４月１日号からは、市民の皆さんに、より広報紙を活用していただけるよう、市のイベントカレンダーを掲載するため「リレーレター」とともに今回が最終回となります。

職員の思いを掲載するコーナーはなくなりますが、これからもたくさんの方に親しんでいただけるよう、それぞれの思いを紙面に込めていきたいと思っています。　（よ）

リレーレター

Vol.66
（最終回）

自然と人に恵まれて

杉本町　蒲池　東四郎さん

「ふるさとは遠きにありて思ふもの　そして悲しくうたふもの・・・」と室生犀星（さいせい）は綴（つづ）っております。

私がふるさとを離れ、天理市民となって、もう既に40年が経ちました。

昨年の７月中旬に北九州を襲った豪雨のテレビ報道に突然、私の故郷八女市黒木町の被害状況が放映されていて驚きました。

今年の年賀状には、いまだその被害（八女茶の茶園が無残にも河原の一部と化している）が手つかずの状態で放置されている写真に添えて一言「災害続きの今日、私たちの生き方は、間違っていないのでしょうか」との問いかけをいただきました。

幸いなことに天理は地理的に自然災害の心配が少ないとともに歴史的文化財にも恵まれた地で、友人・知人・スポーツ仲間・ボランティア仲間とともに余生を送れる幸せを感じております。

故郷および被災地の方々に直接お役に立てることは、私個人の力では何もできませんが、何かをしなければという新たなる思いに背を押されました。更に昨年「阪神・淡路大震災の語り部」矢崎由美子氏の講演を聞く機会があり、「ボランティアにする人・される人の配役はありません」という言葉を肝に銘じて、少しでもお役に立てればと願って社会活動を続けたいと思うこの頃です。

※リレーレターは今回をもちまして終了とさせていただきます。